

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年3月11日				
ピンポン						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	・利用者間の関係性を考慮している ・棚の備え付けやTVを壁掛け式にするなどスペースを有効活用している	・個室対応は出来ているがルームの広さが不十分だと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10		・兼務職員も多くいる為、不測の事態にも対応出来ている	・利用者の排泄等の付き添いでルームに居る支援員が少なく感じる事がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		・座椅子やマットが敷かれている ・トイレは十分なスペースがあり、手すりも設置されていて使いやすい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・毎日清掃やアルコール消毒を徹底し、換気も行っている ・床暖房が設置されていて冬も過ごしやすい	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・静養室の整備やTV (DVD) が友達と見られる整った環境になっている ・静養室や新しく個室を2つに分けていることでそれぞれの利用者の生活しやすい環境になっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	3		・どの業務が該当しているか不明 ・兼務職員も、もっと参加できるようにした方がよい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・保護者向けのアンケートやLINEの活用等、コミュニケーションを工夫している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・アンケートを行ったり、会議が定期的に行われている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	7		・外部評価が行われているか不明
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・外部研修の参加や内部の伝え研修の実施、OJT、各委員会の研修を行い資質向上を図っている。	・強行研など資格に関わる研修以外にも参加できる外部研修があればより良いと思う。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		・個別課題などに変更があった際、担当が都度説明してくれるのでありがたい	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	・職員会議や日々のケース記録で情報共有を図りながら計画を作成している。	・PDCA同様に意見聴取対象の職員が増えると尚良いと思う
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			・兼務の方にもタイムリーに共有できる工夫がさらに必要と感じる
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		・標準化されたものは使用していないが、日々の行動観察は行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	3		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			・年に1回見直しをしているが、もう少し短期に見直した方が良い。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		・個別課題や学校の宿題に取り組む時間であったり、集団で活動する時間を分けて設定されている ・必要な方に対しては個別だけでなく集団活動を取り入れた計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	7	・日誌や口頭での情報共有が確実に実施されている	・支援開始前に兼務職員に対してミーティングがあると良い。 ・イベント当日に役割が直前まで分からない事があった。午後～出勤の職員もいるため事前に役割や配置が分かると良い
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	4		・送迎の都合上難しいがプチミーティング的なものがあると良い
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		・朝礼時の「当日頑張ること」や食べたいおやつを自分で選べる機会など自己選択が出来るようになっている	・平日は自己選択の機会が少ないので増やせると良い
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		・併設事業所に生活介護、日中一時支援事業所があり、日常的に利用者同士の交流、職員の連携が図られており、情報共有出来ている ・保護者を介して終了時評価にて情報提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	4	・ミュージックケアという第三土曜日の活動で地域の方や他児と関わりが持ち、活動出来る	・地域の体育館などを生活介護で利用したことがあるので、放デイも利用して活動の機会を増やしてみる
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		10		・参加しているか不明
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	6		・研修の有無が不明 ・年2回の保護者会にて情報提供の場は設けているが、研修の機会がない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	4		・父母の会や保護者会が行われているか分からない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		・何か起こればすぐに連絡し、忘れ物等もその日の内に届けているのが良い	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		・インスタグラムで季節ごとの活動を個人情報を守りながら発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		10		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		・利用者ごとに詳細な計画が作成されている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		・保護者からの情報（アセスメント）に基づく対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		・ヒヤリハットや事故があった際はすぐに記録し共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		・虐待防止の為の研修実施、職員の自己チェック、ストレスチェックの実施等、委員会で虐待防止に努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		・委員会の活動や研修で拘束廃止に取り組み、拘束を行う場合には保護者への説明と同意書で了解を得ている。	